

2024  
5月

# 月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 237 号-① 【基準日 2024 年 4 月 30 日】



## 🌸 社長メッセージ



### ノイズに惑わされないことが大切

ありがとう投信株式会社  
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。5月に入り気温も上昇してきましたが、いかがお過ごしでしょうか？今年、コロナが5類に移行してから初のGWということで旅行されたり、帰省された方も多いのではないかと思います。朝晩の寒暖差の激しい日が続いていますので体調を崩されないようくれぐれもご自愛ください。

さて、先月のマーケットですが、中東情勢の悪化による地政学リスクの高まりや米国の早期利下げ期待の後退から世界株式市場は米国株を中心に総じて下落する1ヶ月となりましたが、新興国株は割安な中国株などが買われて相対的に好調なパフォーマンスの1ヶ月となりました。一方で、金(ゴールド)価格は中東でのイスラエルとイランの緊張が高まるにつれて大きく上昇して史上最高値を更新しました。

また、為替相場については米国債10年利回りの上昇を受けて円安ドル高方向に大きく振れて一時1ドル160円台まで円安が進みました。その後、政府・日銀の為替介入により円相場は円高に大きく振れて乱高下しましたが、結局1ドル157円台の大幅な円安水準で月末を迎えました。

そのような中で、ありがとうファンドは金ETF保有による資産分散効果から月間で+1.2%の上昇となり、先月に続いて基準価額、純資産額ともに最高値を更新して月末を迎えることができました。



今後の見通しですが、米国の今後の景気動向や利下げ見通しに注目が集まっています。堅調な経済指標が発表されれば、インフレ高止まりによる金利上昇リスクが意識されて、早期利下げ期待が後退していく可能性が高まってくるでしょう。

また、今後の世界各国での選挙動向の不透明感にも一喜一憂する相場展開が考えられます。特に11月に行われる米国の大統領選挙では、トランプ前大統領が勝利した場合、金融経済政策や移民政策、エネルギー政策などが大きく変更される可能性が高く、長期化するウクライナ情勢や混迷する中東情勢、米中対立などの地政学リスクにも大きな影響を与える可能性があります。選挙動向の不透明感が増すことによって、マーケットのボラティリティが一段と高まり相場が大きく調整するリスクも高まってくるでしょう。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

一方、急速な円安が進む日本では、今後の日銀の金融緩和政策がどうなっていくのか、政府・日銀の為替介入は継続していくのかに注目が集まっています。

そのような中で、ありがとうファンドは今後も国際分散投資を継続するとともに、イベントリスクや地政学リスク等に備えて、利下げ局面やリスクが増加してボラティリティが高まる局面で上昇が期待される金(ゴールド)へ分散投資することでファンドのダウンサイドリスクを抑制してお客様の資産をしっかりと守りながら長期投資で増やしていきたいと考えております。

## ノイズに惑わされないことが大切

先月の日経平均株価は月間で-4.9%の下落となり、3月に更新した最高値から一転して大きく下落しました。年初から急ピッチで上昇してきましたので、調整すること自体は不思議なことではありませんが、新NISA制度スタートと同時に資産運用を始められた方にとっては、先月の大きな下落に右往左往したり、日々の相場変動に一喜一憂された方も少なくないかもしれません。



現在は、インターネットやSNS等のおかげで今マーケットや世の中で起きていることが瞬時に世界中に伝わる情報過多の時代です。

以前であれば、翌日のニュースや新聞で知る内容もリアルタイムで配信されて確認できるようになったことは便利である反面、大量の情報に常に晒されていて、情報を気にせずにごろごろすることが難しくなっているとも言えます。

一方で、長期の資産運用にとっては日々の相場変動や大量のマーケットニュースのほとんどはノイズでしかありません。ノイズに惑わされることなく、ライフプランに基づいて将来の目標・目的に向かってマイペースでコツコツと将来に向けた資産運用を継続していくことが大切です。

長期の資産運用をする際には、短期的な相場変動に一喜一憂したり、相場を予測してタイミングを見計らって売買を繰り返したりせずに、マーケットが上昇局面でも下落局面でも投資を継続することによる時間分散効果でリスクを低減することが重要になってきます。

そして、将来お金が必要になった時には計画的に換金して使っていくことが、これからの時代の資産運用においてとても大切になってくると考えます。

弊社では、お客様の資産運用を一生サポートさせていただければと考えており、良い時も悪い時も皆さまと資産運用の目標(ゴール)を目指して、一緒に伴走していければと思っておりますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



## ★ 積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

### 「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



### ①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

### ②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



### ③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



**タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう！**

期間	平均取得単価	損益
1年	30,332円	+16.3%
3年	27,360円	+28.9%
5年	23,654円	+49.1%
10年	19,252円	+83.2%
初回(2004年10月)から	13,051円	+170.2%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果を得られます。

### ＜ご参考＞毎月1万円積立した場合

期間	投資額	評価額
1年	12万円	13万9509円
3年	36万円	46万3988円
5年	60万円	89万4479円
10年	120万円	219万7965円
初回(2004年10月)から	235万円	634万9475円

2024年4月30日現在(基準価額:35,263円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。  
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。  
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

## 🌸 セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
ありがとうファンド 第20期半期運用報告会	5月12日 (日)	仙台	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第20期半期運用報告会	5月19日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)

## 🌸 住所変更手続きのお願い

お引っ越しをされてご住所が変わった場合は、書面でのお手続きが必要となります。

弊社から変更用紙をお送りいたしますので、ご記入・ご捺印のうえ、新しい住所が確認できる本人確認書類・個人番号確認書類を添付してご返送ください。

尚、お急ぎの場合は、弊社のホームページから変更用紙をダウンロードして印刷することもできます。

変更用紙のご請求・ダウンロードは、こちら(<https://www.39asset.co.jp/guide/change/>)をご覧ください。

## 🌸 「39紹介プログラム」好評実施中！ ～この機会にご家族ご友人に資産形成を勧めてみませんか？～

既に口座をお持ちのお客さまがご友人やご家族をご紹介していただいた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼント贈呈させていただきます。お客さまのご友人やご家族で、ありがとう投信に興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご紹介をお願いいたします。

詳しくはこちら(<https://www.39asset.co.jp/service/campaign/shokai/>)をご覧ください。



ご家族・ご友人

# 39紹介プログラム

3/9 START!

紹介を受けた方がありがとう投信の  
新規口座開設+定期積立1万円以上を  
6ヶ月継続していただくことで  
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈!



## 🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！  
皆さまの金融リテラシー向上の一助にもなれば幸いです。

### 相続登記の義務化は2024年4月1日から — 過去の相続も対象になるので注意！

相続した不動産を相続登記しないまま、亡くなった人の名義で放置していませんか？2024年4月から、相続登記が義務化されました。相続登記が義務となった背景や内容についてまとめました。

#### まず、相続登記とは

相続登記とは、相続した土地・建物について不動産登記簿の名義を変更する手続きのことです。不動産の名義は、相続があった時に自動的に変更されず、法務局に申請する必要があります。これまでは、相続登記は任意であり法的なルールがありませんでした。また、手続きに費用や手間がかかるため、相続登記されないケースが数多く存在しており、社会問題となっています。



#### なぜ、相続登記が義務化されるのか？

相続登記が義務化された背景として、「所有者不明土地」の問題があります。所有者不明土地とは、不動産登記簿を確認しても所有者がわからない土地や、所有者がわかっても所有者に連絡がつかない土地のことです。所有者不明土地が増えると、公共事業や災害時の復旧復興が円滑に進まない、不動産取引の妨げになる、土地が管理されず放置され、隣接する土地に悪影響を及ぼすといった問題が生じます。そのため、これらの問題解消の一つとして、法改正により相続登記が義務化されることになりました。

#### 相続登記の義務化はいつから？

相続登記の義務化は【2024年4月1日】から開始されました。

#### ■相続で取得したことを知ったときから3年以内に申請をしなければならない

相続で取得したことを知った日とは、相続が発生した日(相続開始日)ではありません。つまり、相続発生時点で自分が相続人であることを認識していても、相続財産の中に不動産があることを知らなかった場合は、この3年には含まれないものとされています。

#### ■過去に相続した不動産も相続登記しなければならない

相続登記の義務化は2024年4月1日より開始されていますが、それより前の相続も相続登記義務化の対象になるので注意が必要です。そのため、過去に土地・建物など不動産を相続した方は、相続登記を完了しているかどうか確認し、完了していない場合には、早めに手続きを進めることが大切です。

#### 定められた期間内に相続登記しないとどうなる？

##### ■罰則規定に基づき過料を求められる

正当な理由なく相続登記を怠った場合、10万円以下の過料が科される可能性があります。ちなみに相続関係者が多いために書類が集まらない場合や遺言の有効性や遺産範囲が争われている場合など、正当な理由があれば罰則の対象にはなりません。

## すぐに相続登記ができないときの対応策 → 「相続人申告登記」の新設

複数の相続人がいて遺産分割協議がまとまらず、期限内に登記申請できない場合はどうしたらよいのでしょうか？そのような場合でも相続人が法務局に申し出を行うことでとりあえず相続登記の義務を果たしたとみなす「相続人申告登記」が新設されました。この制度は各相続人が単独で申告することができ、必要な書類が少ないなど手続きが簡易なものになっています。注意しなければならないのは、この申し出をしたとしても不動産の所有権を取得したことにはなりません。過料を回避するための一時的な措置であり、遺産分割協議が成立したら、その時点から3年以内に相続登記を行う必要があります。

## 相続登記をしない場合の相続人のリスク

相続登記をしないと罰則だけではなく、相続人にとって様々なリスクがあります。

### ■不動産の権利関係が複雑となり手続きが難しくなる

相続登記をしないまま相続人のうちの誰かが亡くなると、次の遺産相続(二次相続)が開始されてしまいます。また、本来相続すべき人が既に亡くなっている場合は、代襲相続が起こり、その方の子や孫が相続人となることがあります。時間と共に相続人が増えると権利関係が複雑になってしまい、相続人全員で合意して相続登記を行うことは事実上かなり困難になります。

### ■不動産の売却や建築、担保にすることができない

相続登記をしないと登記簿上の所有者は亡くなった方のままです。したがって、実際の所有者と登記簿上の所有者が一致しないため、売却や新たな建築ができません。また、借入の担保などにも利用できません。

### ■不動産を差押えられる可能性がある

相続人の中に借金している人がいた場合、債権者がその相続人に代わって法定相続による相続登記を申請することができます。そうなってしまうと借金をしている相続人の持分を差し押えられ、財産を失ってしまうリスクがあります。

相続登記は、不動産を相続した場合に行う大切な手続きです。相続登記をせずに放置することには何ひとつメリットはなく、あるのはデメリットばかりです。義務化をきっかけに、未登記の不動産の有無を確認し、未登記であれば早めに登記を済ませておきましょう。相続関係が複雑な場合は、時間も労力もかかるため専門家に依頼することをおすすめします。

### 法務省「相続登記の申請義務化について」

[https://www.moj.go.jp/MINJI/minji05\\_00599.html](https://www.moj.go.jp/MINJI/minji05_00599.html)

### 法務省「相続登記の申請義務化特設ページ」

[https://www.moj.go.jp/MINJI/minji05\\_00590.html](https://www.moj.go.jp/MINJI/minji05_00590.html)

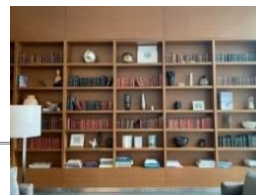


不動産登記推進イメージキャラクター  
「トウキツネ」



## ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。  
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



## ～今月の一冊～

### 半導体戦争 世界最重要テクノロジーをめぐる国家間の攻防 単行本 (ソフトカバー) - 2023/2/15 クリス・ミラー (著), 千葉 敏生 (翻訳)

株式市場は生成 AI ブームで昨年から大きく上昇してきましたが、その牽引役となっているのは米国のエヌビディアなどの半導体関連企業です。半導体関連と一口に言っても裾野は広くて、半導体を設計する会社、製造・組み立てする会社、製造する装置を作っている会社とその部品を作っている会社、半導体の材料を作っている会社、出来上がった半導体を検査する装置を作っている会社など一大産業を形成しています。

半導体は、現在の生活に必要なありとあらゆるものに使われており、冷戦終結後は「産業のコメ」とも呼ばれています。スマホや PC だけでなく私達の身の回りにある家電や自動車、電車や飛行機、インフラ設備など電気で制御するほぼすべてのものに半導体が使われています。もはや半導体なしでは私達は生活することができないと言っても過言ではないでしょう。

本書は、そのような現代社会に欠かせない世界最重要テクノロジーである半導体の黎明期から現在に至るまでを世界の歴史的文書の調査や 100 人を超える科学者、技術者、CEO、政府官僚へのインタビューに基づきまとめたノンフィクションです。

半導体の歴史を遡ると国際政治や安全保障、軍事力との深い関係がわかってきます。半導体は石油以上の「戦略的資源」であり、なぜ半導体を巡って米中が激しく対立しているのかが理解できるでしょう。

株式市場の現在の生成 AI ブームがいつまで続くかはわかりませんが、半導体は間違いなくこれからも人類にとって最も重要なものの一つであることは確かだと思います。そのような半導体を理解するはじめての一步として本書を一読してされてみてはいかがでしょうか。おすすめいたします。



## 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落し金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2024年 5月分	4月4日(木)	4月22日(月)	5月7日(火)	5月15日(水)	5月17日(金)
2024年 6月分	5月1日(水)	5月27日(月)	6月6日(木)	6月14日(金)	6月18日(火)
2024年 7月分	6月5日(水)	6月26日(水)	7月8日(月)	7月17日(水)	7月19日(金)
2024年 8月分	7月4日(木)	7月25日(木)	8月6日(火)	8月16日(金)	8月20日(火)

## ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

5月1日(水)	労働者の日	ルクセンブルグ	5月9日(木)	ヨーロッパの日/キリスト昇天祭	ルクセンブルグ
5月20日(月)	聖霊降臨祭	ルクセンブルグ	5月27日(月)	戦没者記念日/銀行休業日	ニューヨーク/ロンドン
6月3日(月)	銀行休業日	アイルランド	6月19日(水)	奴隷解放記念日	ニューヨーク

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.40% ± 0.3% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→FactSet Market Indices Japan 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

<免責事項 | Disclaimer>

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。